

開講科目名	実験・実習 2 (機械08)		
担当教員	機械工学各教員、安達 和彦	開講区分	単位数
		後期	2単位

### 授業のテーマと目標

実験・実習 1 に同じ。ただし実験・実習 2 は後期における講義内容に対応して行う。

### 授業の概要と計画

具体的なテーマについて実験・実習を行うとともに、最先端の研究施設、工場、関連施設などを見学し、講義内容に関する実際を自ら体得する。実施場所は、それぞれの目的に応じた場所を選定する。主な実験・実習内容は以下の通りである。(なお、実施場所の都合などにより、内容は一部変更することがある。)

「生産プロセス技術」関係

- (1) 切削加工(三菱マテリアル神戸ツールズ)
- (2) 接合加工(摩擦圧接)実験・実習(兵庫県工業技術センター)
- (3) レーザー加工実験・実習(AMPI)
- (4) 最新工作機械・NC加工機(大阪機工(株))
- (5) 5軸NC加工実験(神戸市復興支援工場)
- (6) (株)神戸製鋼所 西神総合研究所見学

「医療技術・医療用機器」関係

- (1) ポートアイランド地区関連施設見学
- (2) 粒子線治療センター見学
- (3) 西播磨総合リハビリテーションセンター見学
- (4) (株)シスメックス見学
- (5) その他関連施設の見学

「生産システムと生産管理」関係

- (1) (株)カネカ高砂工場見学
- (2) (株)ミツ精機見学
- (3) ハイテクパーク工業団地見学
- (4) 西神工業団地見学
- (5) その他関連する工場、施設の見学

各テーマについて実験・実習した内容に関するレポートを提出させ、提出されたレポートの結果を総合評価する。評価が60点以上となったものを合格とする。評価の目安は、実験・実習の内容を十分に理解して体得し、意欲的に実験・実習に参加したと判断できる場合を優、実験・実習の内容はよく理解したが、積極性が十分でないとは判断できる場合を良、実験・実習内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を可とする。

### 成績評価方法と基準

各テーマについて実験・実習した内容に関するレポートを提出させ、提出されたレポートの結果を総合評価する。評価が60点以上となったものを合格とする。評価の目安は、実験・実習の内容を十分に理解して体得し、意欲的に実験・実習に参加したと判断できる場合を優、実験・実習の内容はよく理解したが、積極性が十分でないとは判断できる場合を良、実験・実習内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を可とする。

### 履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし。後期における「生産プロセス技術」、「医療技術・医療用機器」、「生産システムと生産管理」の講義と関連して実施する。

### オフィスアワー・連絡先

決まったオフィスアワーは設けませんが、永井千秋 (mail: nagai-chiaki@kobe-ipc.or.jp) に事前に連絡してください。

### 学生へのメッセージ

### テキスト

特になし。随時補助的な資料などを配布する。

参考書・参考資料等

--